

# 栗東市の取り組み

## 防災・防犯情報配信システム

携帯電話などで情報を受け取るサービスです。

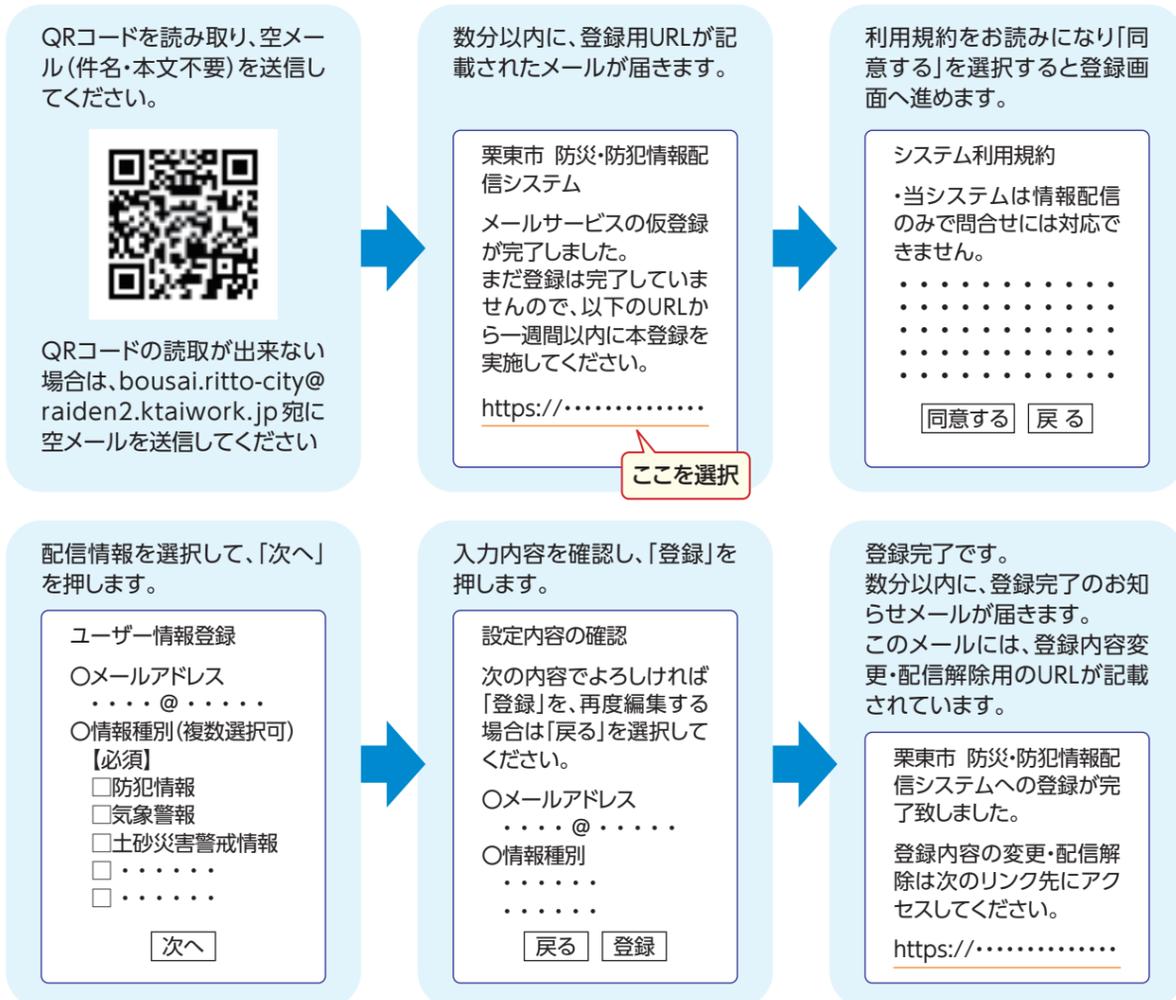
栗東市では、防災行政無線の情報などを住民の皆さんへ電子メールで配信します。どなたでもご登録いただけますので、多くの皆さんの登録をお願いします。

※登録は無料ですが、メール受信に係る通信料は利用者の負担となります。

※登録に必要な個人情報は、メールアドレスのみです。情報はこのサービスのためだけに使用します。

### 登録方法

登録の前に、[ritto-city@raidan2.ktaiwork.jp]からのメールを受信できるように設定してください。



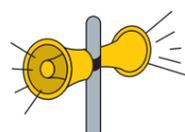
## 同報系防災行政無線放送

屋外に設置したスピーカーから気象情報や避難情報(他に火災情報・震度情報など)など重要な内容をお知らせする放送システムです。

気象条件などで聞こえかたが異なりますので災害発生時には、隣近所で助け合い、情報を伝え合うなど、市民の皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。

### 放送内容は電話で確認できます

防災行政無線の放送が聞き取れなかったときは、フリーダイヤルに電話をかけると放送内容を確認することができますので、ぜひご利用ください。



フリーダイヤル **0120-031899**

## 災害時避難行動要支援者にやさしいまちづくり

### ●災害時避難行動要支援者登録制度に登録しましょう

災害時においては、地域・近所における助け合いが大切です。この制度は、平常時から、見守り活動に活用いただくとともに、災害時に安否の確認や避難の手助けが、地域の中で速やかに行われるように、避難支援が必要な人に登録いただくものです。

### ●災害時避難行動要支援者を守りましょう

#### 人にやさしいまちづくり

放置自転車などの障害物はないか、耳や目の不自由な人や外国人向けの避難の伝達方法はあるかなど、要支援者にやさしいまちづくりをしましょう。

#### 避難するときは しっかり誘導する

ひとりの要支援者に対して複数の住民で支援するなど、地域で具体的な救援体制を決めておきましょう。隣近所で助け合いながら避難するようにしてください。

#### 日頃から積極的な コミュニケーションを

災害時の支援活動をスムーズにするためには、要支援者とのコミュニケーションを日頃から図っておくことが大切です。

### ●災害時避難行動要支援者の避難誘導のポイント

#### 高齢者・病人

- まず声をかけ、サポートして欲しい方法を聞いて支援する。
- 手をつないだり、おぶったり、担架を利用したりする等、本人が安心する方法が大切。



#### 目の不自由な人

- まず声をかけ、杖を持った人の手はとらず、ひじや二の腕、肩に触れてもらい誘導する。階段など次の行動に入る前には必ず言葉で伝える。
- できるだけ状況を言葉で具体的にイメージできるように伝える。



#### 耳の不自由な人

- 手話、筆談、身振り、空書(空中に書く)、手の平に書く、図や絵などを総合的に使って伝える。
- お互いに顔を向き合う形で伝え、安心感を持ってもらうことが大切。



#### 知的障がいのある人

- 声かけをし、落ちつかせる。状況の理解が難しい場合は、手を引くなどして誘導する。

#### 車いす利用者

- 階段や坂は、上るときは前向きで、下るときは後ろ向きにして移動し、3~4人で対応するのが良い。

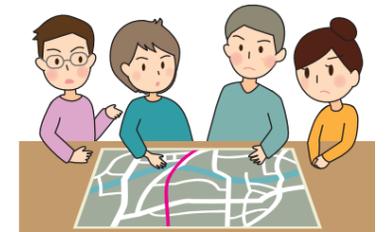
#### 旅行者・外国人

- 身振り・図や絵・簡単な日本語などを総合的に使用し、意思疎通を図る。

## いのちを守る防災マップづくり

### ●自治会単位の防災マップを作りましょう

地域の防災意識をさらに高め、安心安全のまちづくりのため、地域における自主防災活動の支援を行っています。万が一の災害時、地域住民同士が協力して助け合い、安全に避難するために町内レベルの狭い地域で、より具体的・効果的な行動をとることが大切となります。そこで、自主防災マップを作成して、地域の皆さんへ配布することによって、自主防災活動の第一歩としても取り組むことができます。



## 地域で防災活動を進めましょう

### ●自主防災組織とは

「自分たちの地域は自分たちで守る」という考えで防災の活動をする組織です。

地域で予め役割を分担し、災害時にはみんなが協力のもと活動し、被害を最小限にできるようにします。

他のイベントとあわせて活動するなど、楽しく活動することが長続きして活性化する秘訣です。

- 消防、警察、消防団、自衛消防隊、女性会、子ども会とも連携を取りながら地域に根ざした活動を展開します。
- 家具の固定など、高齢者には難しい場合があります。自主防災組織の活動としてお手伝いすることも可能です。
- 地域の災害時避難行動要支援者とも日頃からおたがいにコミュニケーションをとるように心がけます。
- 地域の商店・企業の協力が得られるように、連携しておくことも大切です。